



かしわ葉

校訓
敬心愛知
堅志力行

平成31年度の始まりにあたり

校長 船倉 功



本校広報誌「かしわ葉」をお読みいただき、誠にありがとうございます。また、平素から本校の教育活動に対しまして、御理解と御支援を賜り、心より感謝申し上げます。

平成31年度がスタートしました。始業式で、「新しい学年、新しいクラスになって、気持ちを新たにすることと合わせて、自分自身がこれまでの自分よりもしっかりと成長するという決意を持って、新年度をスタートさせてほしい」という話をしました。自分の将来の夢や志の実現には、目標を明確に設定し、逆算してやるべきことを具体的に考え、スケジュール化をして行くことが不可欠です。日々の学習が「やらされる勉強」ではなく、「自ら主体的に取り組む学習」でなければなりません。部活動、生徒会活動、学校行事なども含めて、自分自身の「学び」に真正面から向き合うということが、「これまでの自分よりしっかりと成長するという決意を持つ」ことにつながります。自分の10年後、20年後の人生「未来のライフ」とこの三原高等学校で過ごす「現在のライフ」をつなぐように、自分自身の人生を真剣に考え、進路目標を明確にして、日々の「学び」に臨んでほしいと思います。

入学式では、これからの社会で求められる力を身に付ける土台を作るために、「高い志をもつこと」「凡事を徹底すること」「よき友を作ること」の3つのことを実行してほしいという話をしました。特に「凡事徹底」は、校訓である「敬心愛知 堅志力行」を実践していく上において極めて重要であると考えています。「凡事徹底」とは、「挨拶・服装・清掃」といった当たり前のことを、徹底して、心を込めて、一生懸命にするということ、またそれを習慣化するという事です。この「凡事徹底」は、挨拶・服装・清掃に限らず、時間を守ること、ルールやマナーを守ること、そして「主体的に学びに向かうこと」など、高校生活のあらゆることに当てはめて実践すべき大切な姿勢です。

「当たり前のこと」や「基礎・基本」は、「初歩的なこと」とか「誰でもできること」のように思ってしまうかもしれませんが、「当たり前のこと」や「基礎・基本」が物事の核をなすものであり、本質につながる大切なものであると思います。学習においても、部活動等においても、「基礎・基本」を大切にしないとされるのは、そのためです。

また、「凡事徹底」において大切なことは、周りの人たちのことに気づき、周りの人たちのことを

気遣い、周りの人たちの思いやる心です。気持ちの良い挨拶、隅々まで心を込めて掃き清める、関わっているすべての人のことを配慮して時間や規則を守るなど、当たり前前のことを、当たり前以上に、心を込めて徹底することの基本は「他者を思いやる気持ち」です。日々の生活において、常に他者を思いやる気持ちを大切にしてほしいと思います。

本校生徒が、自分自身の未来に真正面から向き合い、日々、誠実に、地道に、努力を継続することを通して、今年度1年で、また大きく成長してくれることを期待しています。

本校は来年度、創立100周年を迎えます。これからも保護者並びに地域の皆様の期待と信頼に応える学校であり続けるよう努力してまいります。今後とも、御支援のほど、よろしくお願いいたします。

第73回入学式挙行

4月9日(火)

厳粛な雰囲気の中で、第73回入学式が挙行されました。新入生182名が入学し、これからの新しい三原高校の伝統を作り上げていきます。



対面式

4月9日(火)

今年度は入学式に引き続き対面式を行いました。生徒会長と新入生代表が挨拶をしました。



広島県立三原高等学校 〒723-0016 三原市宮沖四丁目 11-1

TEL : 0848-62-2151 FAX : 0848-62-2152

ホームページ <http://www.mihara-h.hiroshima-c.ed.jp/>

メールアドレス mihara-h@hiroshima-c.ed.jp